

平成25年度

坂井市立三国病院改革プラン評価書

平成26年12月

坂井市立三国病院改革プラン評価委員会

◆ はじめに

坂井市立三国病院改革プラン評価委員会は、坂井市立三国病院改革プラン(以下「改革プラン」という。)の点検・評価を実施した。  
評価にあたっては、改革プランに掲げる項目の数値目標について、坂井市立三国病院が行った自己評価を基礎として次の4段階評価基準による評価を行った。

<評価説明>

評価	評価の基準
評価 A	計画、目標数値を大きく上回った (+10%超)
評価 B	計画、目標数値をほぼ達成した (+10%まで)
評価 C	計画、目標数値をやや下回った (-10%まで)
評価 D	計画、目標数値を大きく下回った (-10%超)

1. 全体評価

坂井市立三国病院は平成21年3月に改革プランを策定し、その達成を進めるためとして経営効率化の数値目標を定めて具体的な取組みを進めてきた。

平成25年度は、入院基本料の区分変更により、入院収益が大きく減少し、その結果、【表1】のとおり改革プラン目標値を下回った項目数が上回った項目数より多くなった。全体としては目標数値を下回ったと評価される。今後更なる努力を求めるものである。

2. 個別評価

財務数値の達成状況については、6項目中1項目を評価C、5項目を評価Dとした。収入の確保については、5項目中1項目を評価B、1項目を評価C、3項目を評価Dとした。支出の削減・抑制については、3項目すべてを評価Dとした。

【表1】

## 市立三国病院改革プラン評価表(経営効率化指標総括表)

## 1. 財務数値の達成状況

## (1) 減価償却費・繰延勘定償却を含む場合

財務数値目標 (総務省が提示した参考目標値)	前年度 実績	平成25年度		病院自己評価	評価委員会評価
		目標値	実績		
経常収支比率(99.4以上) (%)	90.9	97.8以上	91.3	C	C
医業収支比率(90.6以上) (%)	84.2	94.3以上	77.8	D	D
職員給与費比率(59.1以下) (%)	58.4	53.7以下	64.3	D	D
材料費比率(24.6以下) (%)	18.6	17.9以下	20.0	D	D
(うち薬品費比率)(14.8以下) (%)	9.4	9.0以下	10.2	D	D
病床利用率(74.8以上) (%)	65.6	79.8以上	61.5	D	D

## (2) 減価償却費・繰延勘定償却を除く場合

財務数値目標 (総務省が提示した参考目標値)	前年度 実績	平成25年度		病院自己評価	評価委員会評価
		目標値	実績		
経常収支比率(99.4以上) (%)	100.4	106.4以上	102.5	C	C
医業収支比率(90.6以上) (%)	93.4	103.0以上	87.6	D	D
職員給与費比率(59.1以下) (%)	58.4	53.7以下	64.3	D	D
材料費比率(24.6以下) (%)	18.6	17.9以下	20.0	D	D
(うち薬品費比率)(14.8以下) (%)	9.4	9.0以下	10.2	D	D
病床利用率(74.8以上) (%)	65.6	79.8以上	61.5	D	D

## 2. 収入の確保

財務数値目標項目	前年度 実績	平成25年度		病院自己評価	評価委員会評価
		計画値	実績		
1日当たり入院患者数 (※1) (人)	68.8	80.0	64.8	D	D
1人1日当たり入院診療単価 (※2) (円)	30,438	31,900	27,540	D	D
病床利用率(対105床) (※3) (%)	65.5	79.8	61.5	D	D
1日当たり外来患者数 (人)	290.2	300.0	276.0	C	C
1人当たり外来診療単価 (円)	7,685	7,600	7,921	B	B

(※1) 1日当たり入院患者数＝(在院年患者数＋退院年患者数)÷年間日数

(※2) 1人1日当たり入院診療単価＝入院収益÷(在院年患者数＋退院年患者数)

(※3) 病床利用率＝(在院年患者数＋退院年患者数)÷(105床×年間日数)

## 3. 支出の削減・抑制

財務数値目標 (総務省が提示した参考目標値)	前年度 実績	平成25年度		病院自己評価	評価委員会評価
		計画値	実績		
職員給与費比率(59.1以下) (%)	58.4	53.7以下	64.3	D	D
材料費比率(24.6以下) (%)	18.6	17.9以下	20.0	D	D
(うち薬品費比率)(14.8以下) (%)	9.4	9.0以下	10.2	D	D

【表2】

## 市立三国病院改革プランの具体的取組状況

## 1. 民間的経営手法の導入

項目	取組実績・成果等	課題・改善案等
調理部門の委託	平成22年4月から献立・食材料発注を除く調理部門の委託を実施した。(災害時において病院給食の優先提供内容とする契約) 平成25年度の契約更改において1,800千円/年の減額を行った。	献立、食材料を除く調理部門の委託を継続的实施を推進する。

## 2. 事業規模・形態の見直し

項目	取組実績・成果等	課題・改善案等
現診療体制の維持 (地方公営企業の一部適用維持)	非常勤診療科の常勤医師確保を目指し、各大学医局や県へ医師派遣を要請した。併せて、ホームページにて医師募集広告を行っている。 、平成25年4月より、県から産婦人科医師1名が常勤医師として派遣された。	当院に限らず、地域医療機関の医師不足は全国的に大きな問題となっているが、引き続き各大学医局、県に対して継続的な派遣を求めていく。

## 3. 経費削減・抑制対策

項目	取組実績・成果等	課題・改善案等
委託業務契約の見直し	長期継続委託業務契約の契約更改時に点検・見直しを行い、5業務において7,447千円の削減を図った。	今後予定されている医療機器等の更新に際し、その保守料の削減を図る。
薬品価格の削減	コンサルタント会社に購買監査を委託して、平成21年度で5%削減し、22年度で12%の削減を図った。23年度以降も前年度同様に12%の継続的削減を図った。	全国自治体病院協議会による医薬品や医療材料の共同購入事業を引き続き要請する。
医療材料価格の削減	コンサルタント会社に購買監査を委託した結果、高額な材料が少なく、また適正価格の品数が全体の90%程度であり適正であるとの評価を得て、この水準の維持に努めた。	
医療機器購入検討委員会の設置	医療機器購入検討委員会を開催し、機器購入の厳選を図った。	継続して検討委員会を開催し、機器購入の厳選を図る。
事務局職員の会計間人事交流による人件費抑制	平成25年4月に、3名の人事異動があったが、職種間の異動があり削減効果には至らなかった。	今後も人事担当課に協力要請を図る。

#### 4. 収入増加・確保対策

項目	取組実績・成果等	課題・改善案等
看護配置体制10対1の維持	平成24年12月に行われた近畿厚生局福井事務所の施設基準適時調査による自主点検の結果、平成25年1月から特別入院基本料となり平成25年11月まで回復できなかった。	増員は確保したものの、依然として人員が不足しており、職員に過度の負担をかけている状況である。安定した看護配置体制10対1を維持するため、看護職員を随時募集するなど、看護師の安定的確保を図る。
人間ドック・健診等の拡充	平成22年4月から参加している福井県がん個別検診制度について、当初から参加している婦人科(乳がん・子宮がん)部門に加え、胃がん、肺がん、大腸がん検診についても福井県医師会に申請を行い、平成25年10月以降からの実施した。	人間ドック・健診事業の継続的实施を図る。
ベッドコントロールによる病床利用率の向上	平成23年4月に医療ソーシャルワーカーを2名採用したことで、平均在院日数が短縮し16～17日で推移している。そのため入院診療単価も増加した。一方で、入院患者数の減少により、病床利用率は低下した。	引き続き、適正な退院調整等を行い、平均在院日数の短縮を図るとともに、常勤医師を増員し、入院診療可能な診療科を増設することで、入院患者数の増加を図る。
診療報酬等研修会	平成26年4月の診療報酬改定に伴い、全職員を対象に、研修会を開催した。また、県看護協会で開催された看護部門の研修会に参加した。	今後も診療報酬が改定される際は、研修会を開催し、情報の共有化を図る。

#### 5. その他

項目	取組実績・成果等	課題・改善案等
職員の資質向上	職員の専門性や知識の向上を図るため、各種院内研修を全体及び職種別に実施した。さらに、学会等への積極的参加を促し、多くの職員が参加した。	引き続き、研修の開催及び学会等への参加を促進する。
地域医療連携の環境整備	平成25年12月から地域医療連携室を診療部所属とし、診療部長のもと看護師1名、医療ソーシャルワーカー2名の体制で、地域医療連携の充実を図った。	地域医療連携室へ専任の看護職員を配置したいが、人員不足により兼任で対応している。人員を確保し、充実した体制を整え、更なる地域医療連携の充実を図る。
医師及び看護師の負担軽減	臨床工学技士の採用による医療機器の日常点検、臨床検査技師の増員による超音波診断検査実施により、医師及び看護師の負担軽減を図った。	引き続き、医師及び看護師を増員すべく、各種関係機関への要請、広告を行う。また、他職種の職員が補える業務を検証するなど、チーム医療の体制強化を図る。
患者満足度調査の実施	平成26年3月に外来患者300人を対象に患者満足度調査を行った。	概ね満足頂ける結果であったので、引き続き患者サービスの向上に努める。
地方公営企業会計制度見直し	新会計制度の研修及び企業会計システムの更新を行った。	
平成26年度診療報酬改定への対応		地域包括ケア病棟(病床)の研究

### 3. 評価委員の主な意見

- 病床再編(病床機能報告制度)等が進む中で、急性期機能を維持しつつ、公立病院として地域に果たす役割を明確にすることが重要。
- 収益増加の発想にのみ捉われず、他医療機関との連携強化を進め、地域内医療の充実を優先すべきである。
- 議会はもとより、広く市民に対し、病院の現状を認識してもらうためにも、開催時期を早くしてはどうか。
- 診療日の拡充を図り、受診しやすい病院にするべきである。
- 看護師確保に向けた対策強化を図るべきである。
- 地域医療拡充のため、地域医療連携室の更なる強化を図る必要がある。
- 人間ドック、各種健(検)診の充実を図り、地域住民の健康管理を進めるべきである。

【決算資料】

坂井市立三国病院経営データ

1. 職員の状況

【単位：人】

職種	平成22年度末現在		平成23年度末現在		平成24年度末現在		平成25年度末現在	
	正職員	臨時職員	正職員	臨時職員	正職員	臨時職員	正職員	臨時職員
医師	11	20	11	21	12	17	12	18
薬剤師	4	1	4	1	4		4	
放射線技師	4		3		3		4	
臨床検査技師	5	3	6		4	1	5	
管理栄養士	1		1		1		1	
栄養士		1		1		1		1
理学療法士	1		1		2		2	
作業療法士	1		1		1		1	
言語聴覚士	1		1		1		1	
臨床工学技士							1	
視能訓練士	1		1		1		1	
看護師・助産師	53	9	55	9	54	9	53	12
准看護師	8	4	9	2	7	4	7	2
事務職員	6	9	6	9	7	9	8	8
オペレーター		1		1				
医療ソーシャルワーカー			2		2		2	
看護助手	3	13	3	13	3	14	3	13
調理師								
調理師助手								
用務員	1		1		1			
雑仕婦		2		2		3		2
合計	100	63	105	59	103	58	105	56



## 2. 医師の状況

【単位：人】

職種	平成22年度末現在		平成23年度末現在		平成24年度末現在		平成25年度末現在	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
内科	3		3		4		3	
(循環器科)		3		3		2		3
(腎臓内科)		1		1		1		1
(呼吸器科)		1		1		1		1
(内分泌代謝科)		2		1				
小児科	1	1	1	1	1	1	1	1
外科	3		3		3		3	
整形外科	2		2		2		2	
脳神経外科		2		2		2		2
皮膚科		2		2		2		1
泌尿器科		2		3		2		2
産婦人科	1		1		1		2	
眼科	1		1		1		1	
耳鼻咽喉科		3		4		3		4
放射線科		3		3		3		3
合計	11	20	11	21	12	17	12	18

3. 診療科別収益状況(入院) <消費税込>

【単位:人、千円】

診療科	年度	平成24年度決算(A)		平成25年度決算(B)		増減【(B)-(A)】	
		延べ患者数	入院収益	延べ患者数	入院収益	延べ患者数	入院収益
内 科		12,470	344,906	11,277	273,383	△ 1,193	△ 71,523
外 科		3,442	130,175	2,772	99,859	△ 670	△ 30,316
小 児 科		847	25,791	645	15,348	△ 202	△ 10,443
産 婦 人 科		1,994	102,679	1,551	83,722	△ 443	△ 18,957
整 形 外 科		4,520	136,667	5,590	152,327	1,070	15,660
脳 神 経 外 科		0	0	0	0	0	0
眼 科		359	28,048	370	28,108	11	60
泌 尿 器 科		0	0	0	0	0	0
合 計		23,632	768,266	22,205	652,747	△ 1,427	△ 115,519

※ 延べ患者数は在院患者数を指す。

4. 診療科別収益状況(外来) <消費税込>

【単位:人、千円】

診療科	年度	平成24年度決算(A)		平成25年度決算(B)		増減【(B)-(A)】	
		延べ患者数	外来収益	延べ患者数	外来収益	延べ患者数	外来収益
内 科		24,656	201,707	23,975	200,582	△ 681	△ 1,125
透 析 内 科		5,518	170,090	5,173	165,820	△ 345	△ 4,270
外 科		3,986	35,585	4,327	37,808	341	2,223
小 児 科		12,552	41,872	11,872	41,956	△ 680	84
産 婦 人 科		7,558	37,211	6,836	35,460	△ 722	△ 1,751
整 形 外 科		11,562	75,319	11,362	74,820	△ 200	△ 499
脳 神 経 外 科		1,743	11,128	1,681	10,613	△ 62	△ 515
眼 科		7,171	35,126	6,667	32,989	△ 504	△ 2,137
耳 鼻 咽 喉 科		4,466	17,059	4,574	18,229	108	1,170
皮 膚 科		3,126	8,482	2,125	5,384	△ 1,001	△ 3,098
泌 尿 器 科		2,110	16,317	1,988	15,362	△ 122	△ 955
合 計		84,448	649,896	80,580	639,023	△ 3,868	△ 10,873

5-1. 平成22～25年度の損益状況・経営指標(減価償却費・繰延勘定償却を含む場合) <消費税抜>

(単位:千円)

項 目	平成22年度 (実績)	平成23年度 (実績)	平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績) (A)	平成25年度 (計画) (B)	比 較 (A)-(B)
医業収益	1,695,101	1,686,333	1,574,207	1,440,428	1,734,482	△ 294,054
入院収益	891,302	871,679	764,683	649,421	931,480	△ 282,059
外来収益	659,367	653,627	648,962	638,258	665,760	△ 27,502
その他医業収益	144,432	161,027	160,562	152,749	137,242	15,507
(うち一般会計負担金)	66,983	76,415	80,831	80,602	75,468	5,134
医業外収益	146,683	228,479	208,497	334,974	151,821	183,153
(うち一般会計負担金)	140,697	138,133	198,833	326,758	140,482	186,276
経常収益(医業収益+医業外収益)	1,841,784	1,914,812	1,782,704	1,775,402	1,886,303	△ 110,901
医業費用	1,871,625	1,894,714	1,868,730	1,851,948	1,838,974	12,974
給与費	896,720	917,041	919,120	926,720	931,331	△ 4,611
材料費	316,840	313,758	292,922	287,464	310,667	△ 23,203
(うち薬品費)	149,554	151,939	147,255	139,773	155,344	△ 15,571
経費	486,890	492,875	468,931	426,301	437,406	△ 11,105
減価償却費	167,098	167,394	183,943	207,556	154,653	52,903
その他医業費用	4,077	3,646	3,814	3,907	4,917	△ 1,010
医業外費用	196,726	99,866	93,006	91,959	89,504	2,455
支払利息	65,389	63,350	61,692	59,999	58,823	1,176
繰延勘定償却	101,646	7,033	2,783	4,473	1,164	3,309
その他医業外費用	29,691	29,483	28,531	27,487	29,517	△ 2,030
経常費用(医業費用+医業外費用)	2,068,351	1,994,580	1,961,736	1,943,907	1,928,478	15,429
経常損益	△ 226,567	△ 79,768	△ 179,032	△ 168,505	△ 42,175	△ 126,330
特別損失	29,072	2,748	1,677	83,028	2,200	80,828
純損益	△ 255,639	△ 82,516	△ 180,709	△ 251,533	△ 44,375	△ 207,158

5-2. 平成22～25年度の損益状況・経営指標(減価償却費・繰延勘定償却を除いた場合) <消費税抜>

(単位:千円)

項目	平成22年度 (実績)	平成23年度 (実績)	平成24年度 (実績) (A)	平成25年度 (実績) (A)	平成25年度 (計画) (B)	比較 (A)-(B)
医業収益	1,695,101	1,686,333	1,574,207	1,440,428	1,734,482	△ 294,054
入院収益	891,302	871,679	764,683	649,421	931,480	△ 282,059
外来収益	659,367	653,627	648,962	638,258	665,760	△ 27,502
その他医業収益	144,432	161,027	160,562	152,749	137,242	15,507
(うち一般会計負担金)	66,983	76,415	80,831	80,602	75,468	5,134
医業外収益	146,683	228,479	208,497	334,974	151,821	183,153
(うち一般会計負担金)	140,697	138,133	198,833	326,758	140,482	186,276
経常収益(医業収益+医業外収益)	1,841,784	1,914,812	1,782,704	1,775,402	1,886,303	△ 110,901
医業費用	1,654,382	1,721,335	1,684,788	1,644,392	1,684,321	△ 39,929
給与費	896,720	917,041	919,120	926,720	931,331	△ 4,611
材料費	316,840	313,758	292,923	287,464	310,667	△ 23,203
(うち薬品費)	149,554	151,939	147,255	139,773	155,344	△ 15,571
経費	436,745	486,890	468,931	426,301	437,406	△ 11,105
減価償却費						
その他医業費用	4,077	3,646	3,814	3,907	4,917	△ 1,010
医業外費用	95,080	92,833	90,223	87,486	88,340	△ 854
支払利息	65,389	63,350	61,692	59,999	58,823	1,176
繰延勘定償却						
その他医業外費用	29,691	29,483	28,531	27,487	29,517	△ 2,030
経常費用(医業費用+医業外費用)	1,749,462	1,814,168	1,775,011	1,731,878	1,772,661	△ 40,783
経常損益	92,322	100,644	7,693	43,524	113,642	△ 70,118
特別損失	29,072	2,748	1,677	83,028	2,200	80,828
純損益	63,250	97,896	6,016	△ 39,504	111,442	△ 150,946

坂井市立三国病院改革プラン評価委員会 委員名簿

区 分	氏 名	所 属 団 体 ・ 役 職 名 等
委員長	佐 藤 寛 治	坂井市議会 生活福祉常任委員会 委員長
委員	宮 崎 茂 則	坂井地区医師会 三国ブロック代表
〃	五十嵐 愛 子	三国自治区地域協議会代表
〃	廣 瀬 和 郎	坂井市立三国病院長

坂井市立三国病院改革プラン評価委員会 開催経過

開 催 日	議 題
平成26年10月30日(木)	委員長の選出 平成25年度改革プランの点検・評価について